

## 地下構造調査の実施について

昨年の大震災を踏まえて、東京大学地震研究所では、地震を発生させる断層の形状などの地下構造を明らかにするため、福島県新地町から丸森町、白石市、七ヶ宿町を経て山形県高島町に至る約65kmの区間で地下構造調査を実施致します。今後の地震防災対策に大いに寄与する調査ですので、皆様のご理解とご協力をお願いします。(詳しくは、別途配布した資料をご覧ください。)



▲起震車で調査を行います

### 調査期間 (予定)

#### 反射法屈折法調査

平成24年8月21日～9月15日の約20日間  
(一部夜間作業あり)

#### 自然地震観測作業

平成24年8月15日～12月20日の約4ヶ月間

### 調査区域

七ヶ宿町の国道113号沿い (一部町道も含む)

### 調査に関するお問い合わせ

(株)地球科学総合研究所 現地責任者 井上 TEL080-1000-6398 (調査期間中)  
" 本社計測部 村上 TEL03-5978-8026

## 熱中症とは?

室温や気温が高い中での作業や運動により、体内の水分や塩分(ナトリウム)などのバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり、体温上昇、めまい、体がだるい、ひどいときには、けいれんや意識の異常など様々な症状を起こす病気です。

### ◎熱中症の対処方法

- その1 涼しい場所へ移動させ、安静にしましょう。
- その2 口から飲める場合は、水分と塩分の補給をしましょう。
- その3 体が熱ければ、保冷剤などで冷やしましょう(首回り、脇の下、股)
- その4 症状の改善が見られない場合は、病院で受診しましょう。



### ◎こんな時は救急車を呼びましょう!

- ・自分で水が飲めなかったり、脱力感や倦怠感が強く、思うように動けない場合は、ためらわずに救急車を呼んで下さい。
- ・意識がない(おかし)、全身のけいれんがあるなどの症状を起こしている方を発見された場合は、ためらわずに救急車を呼んで下さい。

### ◎熱中症予防のポイント!

- ポイント1 部屋の温度をこまめにチェックしましょう。
- ポイント2 室温が28℃を越えないようにしましょう。
- ポイント3 のどが渴いたと感じたら必ず水分を補給しましょう。
- ポイント4 のどが渴かなくてもこまめに水分を補給しましょう。(特に高齢者と乳幼児)
- ポイント5 外出の際は、体をしめつけない涼しい服装と日よけ対策をしましょう。
- ポイント6 無理をせずに、適度に休憩を取りましょう。
- ポイント7 日頃から栄養バランスの良い食事と体力づくりに心掛けましょう。

お問い合わせ 白石消防署七ヶ宿出張所 37-2100

## ごみ袋が変更になり1ヶ月がすぎました



### ◆町内のごみ集積所の状況をお知らせします



	誤って出されていた		備考
	集積所数	袋数	
7月4日	6カ所	10袋	ごみ袋変更後最初の収集日
7月11日	2カ所	2袋	前回から大きく改善しました

※事前にみなさまからいろいろな情報をいただき、対策をとることができました。ありがとうございます。

### ◆これからも地域のみなさんで、誤ってごみを出している方への声かけをお願いします

### ◆ごみについて「みなさんからの声」

#### 集積所

「通勤や子どもの送迎の時に、ごみを置いていく方がいて困っています。」

※お住まいの地域の集積所に出しましょう

#### ラベル

「ペットボトルのラベルとキャップを分けずに置いていく方がいて収集されない。」

※収集されないごみは、地域の方に再分別していただいています。ペットボトルのラベルとキャップは、はずして容器包装プラスチックとして出してください。

#### びん

「びんが色分けされず集積所に出されて収集されない。」

※この場合も、地域の方に再分別していただいています。びんは「無色透明」、「茶色」、「その他の色」に分けて出してください。

▷お問い合わせ 保健福祉課 (☎37-2114 担当:小川、須井、高橋)

日常から切り離されて視線を外に向けると、そこには驚くほど緻密で生命力にあふれるじねん(自然)が広がっていた。  
4年ほど前に怪我で入院したときにそう感じてから、自然に目を向ける事が多くなりました。物心が付いたときにはテレビ・ビデオ・テレビゲームが身近にあり、自然に目を向ける事はとても少なかったように思います。視線を外に向けてみると見たことのあるけれど名前が知らないという鳥や虫、草木が沢山あり「これはなんだろう」と徐々に興味を持ち調べるようになりました。特に小鳥の可愛さに心を惹かれ写真を撮り始めています。季節が変わるにつれて生き物が変わっていく様がとても面白く、愛おしく感じるこの頃7月、町内では3種類のホタルが大乱舞していました。この豊かな環境をいつまでも残せたらなあと思ひ、日々雑感を感じながら自然と共に成長していきたいら素敵ですね。



湯原 高橋武尊さん

### 「七ヶ宿の豊かな四季」

